

科目名	民法	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	石畝 剛士	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-01-A-1-110018	経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること			
授業の目的	コンビニで買い物をする、アパートを借りる、交通事故に遭う、結婚する、子どもが生まれる、親が亡くなる……etc 人の一生には大小様々な出来事が生じますが、これらにはほぼ全て民法が関わっています。「社会の基本法」とも言われる民法は、私たちが日常生活を営む上で不可欠なルールを定めています。本講義では、民法の全体的な仕組みと基礎的内容について具体例をもとに勉強していきます。社会人として社会生活を営む上での最低限の教養として、民法の概要と考え方を理解してもらえれば幸いです。				
学修到達目標	民法の全体像を理解すること、その上で、何らかのトラブルが降りかかった場合に、「法的にどのような問題が生じそうか」「どのような解決になると考えられるか」についてのイメージが身に付けられるようになることが到達目的となります。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	ガイダンス・民法とは何か
第2回	民法における「人」①-人の能力
第3回	民法における「人」②-代理

第4回	契約の成立と有効性①-契約の成立と拘束力
第5回	契約の成立と有効性②-契約の有効性
第6回	契約の履行と各種契約の内容概観
第7回	財産権の移転①-物権の概要
第8回	財産権の移転②-不動産物権変動
第9回	財産権の移転③-動産物権変動
第10回	物の貸し借りをめぐる契約①-消費貸借契約
第11回	物の貸し借りをめぐる契約②-賃貸借契約
第12回	不法行為①-一般不法行為
第13回	不法行為②-特殊不法行為

第14回	家族に関する法律関係①-婚姻・離婚・親子
第15回	家族に関する法律関係②-相続
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	予習時間は2時間です。あらかじめ配布されたレジュメに目を通し、全体の概要を把握すると共に、疑問点などを見つけておいてください。
【復習】時間・内容	復習時間は2時間です。レジュメに改めて目を通し、講義で話した内容や図を整理しつつ、不明点がないかを確認してください。

成績評価	
評価基準・方法	定期試験の成績によって評価します（100%）。
フィードバック方法	点数分布や平均点などをポータルサイト或いは掲示にて公表し、若干の講評を加えることを予定しています。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	教科書は必要ありませんが、六法を持ってくるか、スマホやタブレット等で閲覧できる状態にしてください。 参考書は授業初回時に適宜お示しします。 もっとも、講義はすべてレジュメに沿って行うので、参考書は特に買わなくても構いません。 その他の詳細については、第1回目の講義（ガイダンス）でお話しします。
受講上の留意点等	「法学」（前期：熊谷先生担当）の講義を聴いていることが望ましいものの、必須ではありません。 公務員・民間企業いずれを志望する場合にも、民法を知っておいて損はありませんので、最初は多少取っつきにくいことがあるかもしれませんが、チャレンジしてくれると嬉しいです。
JABEE	